

多くの信頼を得られる自衛官を目指して 自衛隊入隊者5名を壮行会で激励

自衛隊への入隊が決まった5名を激励するため3月2日に自衛隊入隊者壮行会が開催されました。岸信夫防衛大臣や塩田康一鹿児島県知事からのビデオメッセージも上映され入隊者を激励。海上自衛隊に入隊予定の高田愛満さんは「多くの方から信頼される自衛隊員になれるよう努力します」と決意を表明しました。



前列左2番目から▶牧原仁琉さん(協和)、高田愛満さん(大橋上)、東郷蒼弥さん(東大原)、馬庭さくらさん(上原)、矢野愛望さん(麓)。

木育インストラクターの資格を取得している岩崎理恵さんは「地元のエコについて興味を持ってもらいたい」と期待を込めました。



森林の役割や林業について学ぶ 神川小で林業の出前授業開催

2月16日に神川小学校で身近にある木について知らせてもらうと林業の出前授業が行われ、3・4年生11名が参加しました。児童たちは(株)岩崎木材工芸の岩崎理恵さんから林業の仕事や森林の役割などの説明を受けたあと林業機械の操作も体験。押領司莉王くんは「林業は大切な仕事であることがわかった」と真剣な表情で答えました。

認知症フレンドリーな町となるためには認知症の偏見をなくすことと一緒に暮らしやすい地域づくりについて考えていく必要があります。



認知症フレンドリーパートナー養成講座 ともに生活しやすいまちづくりを

2月22日に町文化センターで認知症になっても生活しやすいまちづくりを目指すための講座が開催されました。23名が参加し、認知症フレンドリー社会についてのオンライン講演や町がこれまで取り組んできたことを報告。おれんじドア代表の丹野智文さんは「認知症当事者の思いを大切にしてほしい」と訴えました。

田代地区で100年以上前から行われている伝統行事である「せっがい」。今年は鶴園地区のみで開催され、新型コロナが早期に収束してほしいという願いも込められました。



新型コロナ収束の願いも込めて 鶴園地区で「せっがい」開催

五穀豊穡、無病息災を願って行われる「せっがい」が2月2日に鶴園地区で開催されました。参加者が感染対策のため離れて見守るなか、伐り出した竹で組み上げた高さ約15mのやぐらに役員が点火。自治会長の山田鉄二さんは、「伝統行事を引き続き守っていききたい」と話し、バチバチと音を立てながら燃え上がる炎を見つめていました。

第6回「未来」想像・創造コンテスト 寄せられたアイデアを実現化へ

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会が主催する、第6回「未来」想像・創造コンテストの表彰式が3月3日に行われました。「未来に向けて挑戦したいこと」をテーマに募集し、寄せられた98件の応募から最優秀賞2名、優秀賞9名を選出。城下浩一会長は「実現可能なアイデアから町に提言したい」と話しました。



「プログラミングで祖父母の農作業を楽にしたい」と提案した大根占小4年の小川純輝くんが12歳以下の部で最優秀賞を受賞しました。

肝属郡医師会立病院の移転再整備を検討 肝属郡医師会が建設の事業主体に

肝属郡医師会立病院の再整備に向け第4回策定委員会が2月8日に町文化センターで行われました。肝属郡医師会が新病院建設の事業主体となる意向の了承や事業整備費などの基本計画概要について協議が行われました。今後は3月中旬まで町民からの意見募集を行い、3月下旬の委員会で基本計画を決定していく予定です。



新病院の規模は1万5,770㎡の敷地面積に鉄骨3階建て延べ床面積9,200㎡の病棟を建設し、13診療科で病床数132床となります。

江戸時代に数えて15歳を祝う行事として立春に行われていた元服。当時は成人を祝う行事で大人としての自覚を深める目的でありました。



将来への決意を新たに大きな一歩 田代中2年生が立志式で決意表明

2月4日に田代中学校で大人への第一歩を踏み出してほしいと立志式を開催しました。2年生12名が七転八起や一生懸命などそれぞれ選んだ言葉に自分を重ね、将来の目標や決意を発表。「走る冒険家」岩元みささんの記念講話も行われ「自分に自信を持ってやりたいことに挑戦してほしい」と生徒たちにエールを贈りました。